

弘前城石垣修理

第20回 ～北側工区の石垣積み直し～

令和3年6月23日に1石目の積み直しを開始した「史跡弘前城跡本丸石垣東面（北側）積み直し工事」は、約600石の積み直しを終え、現在は上から7段目の作業を行っています。

石垣の積み直しは、昔の絵図や解体時の発掘調査で得られた成果により、江戸時代の勾配を復元しながら慎重に作業するため、非常に時間を要するものです（※1）。



▲勾配を確認しながら、石材の位置・角度を調整する様子（※1）

また、石垣は歴史的価値のある文化財であるため、基本的には当時の技法で積み直しますが、地形や地質などの影響で孕（はら）み出しの原因になりうる箇所には対策を講じています。

例えば、発掘調査を行った井戸跡は、現在も地下水が集まりやすい場所になっており、水が溜まることで周辺の土が軟弱化することを防ぐため、内部に栗石（ぐりいし）を敷き詰めて湧水が速やかに排水されるようにしています（※2）。

また、井戸跡のすぐ南側にある元禄期の暗渠（あんきょ…本丸の排水を内濠〈うちぼり〉に流す施設のこと）は、石垣の孕み出しにより変形していました。今回の工事では、修復した暗渠が新たな水路（みずみち）となり石垣に悪影響が及ぶ可能

性があることから、排水機能を持たせずに形状のみ復元します（※3）。



▲井戸跡に栗石を敷き詰める作業（※2）



▲本丸の排水を流していた暗渠の復元（※3）

石垣の本質的な価値は『歴史の証拠』としての価値と『安定した構造体』から成り立つと言われています。

市では、歴史的価値を守りながら、これまで以上に長い間、石垣が健全な状態を保てるよう、各種対策を講じながら作業を進めます。

弘前城本丸石垣修理事業の詳細 <http://www.city.hirosaki.aomori.jp/ishigaki/index.html>

弘前城跡の文化財修理情報『弘前城かわら版』 <http://www.city.hirosaki.aomori.jp/jubun/2022-0331-1107-48.html>

■問い合わせ先 公園緑地課弘前城整備活用推進室（弘前公園緑の相談所内、☎ 33-8739）